


別記第5号様式(第8条関係)

平成28年度政務活動費収支報告書

平成29年4月14日

北広島市議会議長 佐藤 敏 男 様

会 派 名 無会派

代表者名 稲田 保子 

北広島市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定に基づき、下記のとおり平成28年度の政務活動費に係る収入及び支出について報告します。

記

1 収 入 政務活動費 156,000 円

2 支 出

使途基準項目	金 額(円)	内 容
研究研修費	20,900	地方議会総合研究所セミナーほか
調査旅費	96,249	奈良県十津川村、大阪府河内郡太子町ほか行政視察
資料作成費	35,321	インク、コピー用紙、文具等購入費
資料購入費	6,869	書籍等
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 及 び 陳 情 活 動 費		
合 計	159,339	

3 残 額 0 円

注1 内容欄は、主たる内訳を記載すること。

2 支出の使途基準項目別、支払先別の調書を添付すること。

3 政務活動費を充てた経費に係る領収書(領収書を徴することが困難な場合は、経理責任者の支払証明書)の写しを添付すること。

使途基準項目別支払調書(研究研修費)

年 月 日			内 容	支出額	備考
28	10	6	地方議会総合研究所セミナー受講料(札幌市)	15,000	
28	11	18	女性議員の会4TINK主催研修会(北広島市)	1,900	
29	2	10	グラフィックハーベスティング基礎講座参加費(札幌市)	4,000	
合 計				20,900	

使途基準項目別支払調書(調査旅費)

年 月 日			内 容	支出額	備考
29	3	3	行政視察(3月28~30日、奈良県橿原市、大阪府南河内郡太子町、奈良県十津川村・1名 飛行機代(パック料金)	38,896	
29	3	26	同上 視察先お土産代(送料込み)	4,773	
29	3	30	同上 宿泊費(十津川観光ホテル)	13,100	
29	3	30	同上 レンタカー代	14,580	
29	3	28	同上 宿泊費(奈良県橿原市)	8,950	
29	3	30	同上 宿泊代(泉佐野市・飛行機欠航のため延泊)	8,640	
29	3	30	同上 JR等交通費	7,310	
合 計				57,353	

使途基準項目別支払調書(資料作成費)

年	月	日	内 容	支出額	備考
28	4	20	文具等	5,745	
28	5	13	インク代	3,017	
28	6	8	コピー用紙代	3,794	
28	7	2	文具等	1,188	
28	7	17	インク代	6,321	
28	9	11	インク代	7,436	
28	11	12	文具等	1,004	
28	12	4	文具等	4,592	
29	1	8	文具等	2,224	
合 計				35,321	

使途基準項目別支払調書(資料購入費)

年	月	日	内 容	支出額	備考
28	4	28	田中角栄(天才)	1,512	
28	4	20	地図帳	1,944	
28	5	30	下り坂をそろそろと下る	821	
28	5	30	わかりあえないことからーコミュニケーション能力とは何か	799	
28	5	30	コミュニケーション力を引き出す	799	
28	5	30	対話のレッスン日本人のためのコミュニケーション力	994	
合 計				6,869	

視察研修報告書

稲田保子

日 時：平成29年3月29日（火）、30日（水）

研修先：大阪府南河内郡太子町

日本の歴史的文化遺産を活用した文化行政と、それにリンクした観光振興についての行政視察。及び、中山久蔵の生誕地取材。

写真※太子町にて

町教育委員長	勝良 憲治氏
町議会事務局局長	吉田 雅樹氏
町まちづくり課課長	西本 武史氏
町議会事務局主任	清水 敏喜氏
町教育委員会課長	上田 周治氏
町教育委員会	
生涯学習課主任	鍋島 隆宏氏

1、日本の歴史的文化遺産を活用した文化行政と、それにリンクした観光振興についての行政視察。及び、中山久蔵の生誕地取材。

「竹内街道歴史資料館」にて、上記各氏より説明等受ける。

・先に、エコミュージアムでの講演会（鍋島 隆宏氏）において「歴史遺産を活かしたまちづくり」を受講していた。

イ、「太子聖燈会」、「竹内街道灯路祭り」は、町民主導でスタートした。現在は10回前後を数え、行政と各町内会との連携で実行委員会が組織され運営されている。

ロ、聖徳太子の「和」の精神を尊び、太子町を訪れる人々の幸せを願う「灯り」が魅力ある町づくりと町の活性化に繋げる。この二つの祭りのコンセプト。

ハ、燈火カップに一言を添えるワンコイン（500円）スポンサーは大方が市民から協賛で賄う。

会場の叡福寺、西方院、正徳太子和みの広場を燈火で埋め尽くす。

ニ、広報は、町広報紙等が主体だが、マスコミにはニュースになるよう積極的に資料提供などで働きかけている。

人口1万4人足らずの太子町が、この新しいお祭りを発展させていく原動力は町民の思いの深さだと感じた。今後、北広島市に於いても色々なイベントに市民が積極的に参加できる仕組み、協力できる体制づくりが大切だと痛感した。

2、中山久蔵の生誕地取材。

近くの保育園の子供たちが聖徳太子御廟を訪れていた。日常生活の中で「聖徳太子」を知り、太子の教えを自然に学んでいるのだろうか。

寒地稲作の祖「中山久蔵」の生誕地太子町の世界文化遺産環境調査にある。

彼が挑戦してきた数々の事案。成し遂げた偉大な稲作技術と無償の技術指導や土地の寄贈等、たくさんの奉仕をなす偉業がある。その一つ、彼の菩提寺である「西宝山光福寺」境内にある石段の縁に中山久蔵の文字が刻まれていた。改めて彼の奉仕の心を知ったような気がした。

彼の精神を育てたのが、聖徳太子御廟のまちだったのではないかと新たに感じた。
光福寺住職 津田隆志取材。

日 時：平成29年3月30日（水）

研修先：奈良県十津川村

移住政策、まちおこしについて

写真※十津川村議場

村議会副議長 小西 規夫氏
村議会事務局局長 柏木 さとみ氏
地域創成推進課課長 前岡 幸英氏

村民は村おこしの傍観者でなく、現状に問題意識を持ちながら公民上げて村おこしに参加をする。

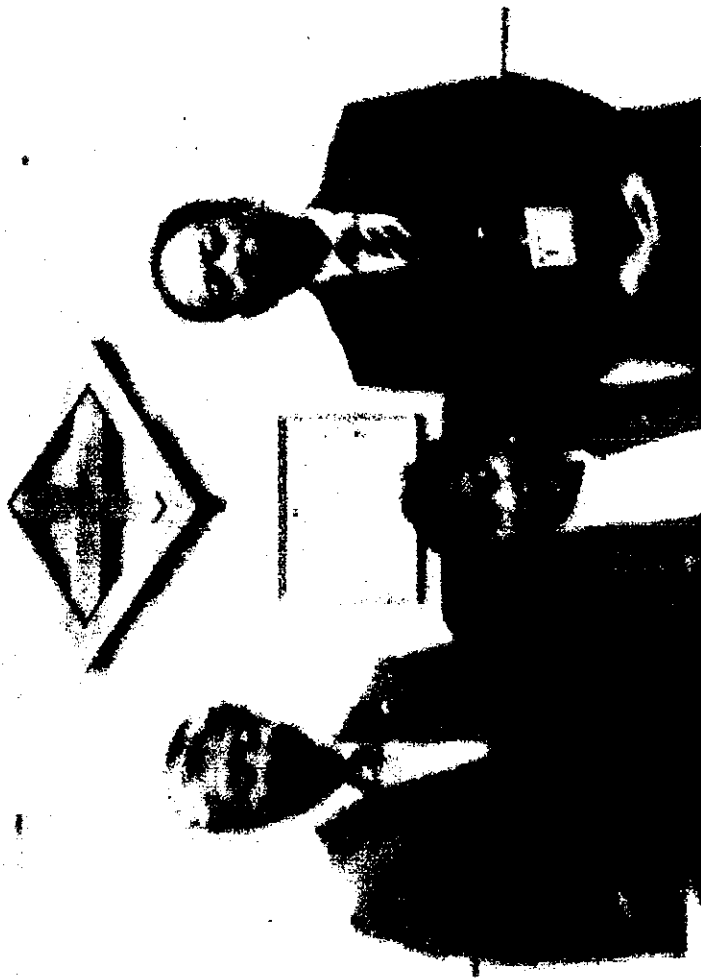
1. 移住者に対する細やかな手引き書の作成。
空き家の買主と貸し借主探しの情報提供。
空き家の片づけ、改修に補助金を提供（片づけ費用・・上限5万円）。
2. 空き家バンクで約10名の移住者を生んだ。

十津川村役場の前庭に、NHKドラマ「新十津川物語」ヒロインの津田フキの像があった。北海道の新十津川町から寄贈されたものだとし小西副議長の説明があった。北広島市は、全国的に非常に認知度が低く新十津川村でも「北広島町」と混同された。他市町村の人々や、外国人観光客も利用するエルフィンパークは北広島市の玄関だ。現在クラーク博士の顔抜き像と、まいピーがあるだけで、市のポリシーが全くない。恥ずかしい限りである。市の歴史と文化を大切にしてほしい。市民の誇りもそこから育ってくる。広島県からの25戸が厳寒の地へ移住。うっそうと大木に覆われ熊笹が生い茂る土地を開墾した移住者の姿を想像することはとても大切だと思う。それは生きる力につながると思う。

そして北広島市がなぜ北広島なのか、口からくちへ広がっていくのではないかと思う。

私は、北広島市に住んで40年近くなるが母県となる広島県の文化が見当たらず疑問を感じていた。新十津川村と母村十津川との交流は食文化や精神文化、言葉も含め多くが受け継がれている。





奈良県十津川村

谷瀬集落



谷瀬 暮らし



実践編

